

「みどりの文化ゾーン」の体験、交流、情報発信等の拠点となる「花みどり文化センター」

「花みどり文化センター」は、みどりの文化ゾーンの体験、交流、情報発信等の機能を集約的に果たす当ゾーンのメイン施設です。

館内には講義室、研修室、ギャラリー等を備え、「緑の文化」に関する様々な展示、研修等を行う他、映像展示や、園内の動植物の標本等による実物展示により、「緑の文化」の骨格となる情報を提供します。

講義室、研修室、ギャラリー等は、「緑の文化」に関する活動等への貸出も行います。

【建物の特徴】

- ・様々な大きさの筒状の柱が建物の屋根を支える構造で、その間の空間を利用目的に応じて自由にレイアウトできます。筒状の柱の中は円形の講義室等となります。

【運営方針】

- ・「緑の文化」に関する展示、研修、講習、ワークショップなどを通じた情報の発信拠点を目指します。
- ・映像や展示物、図書、情報検索パソコンなどを用意し、市民の皆様の「緑の文化」に関する生涯学習や創造的な活動をお手伝いできる施設とします。
- ・また、「緑の文化」に関する活動を行う場合には、別途の申し込みにより、講義室、研修室、ギャラリーやテラスが有料でご利用いただけます。

【施設概要】

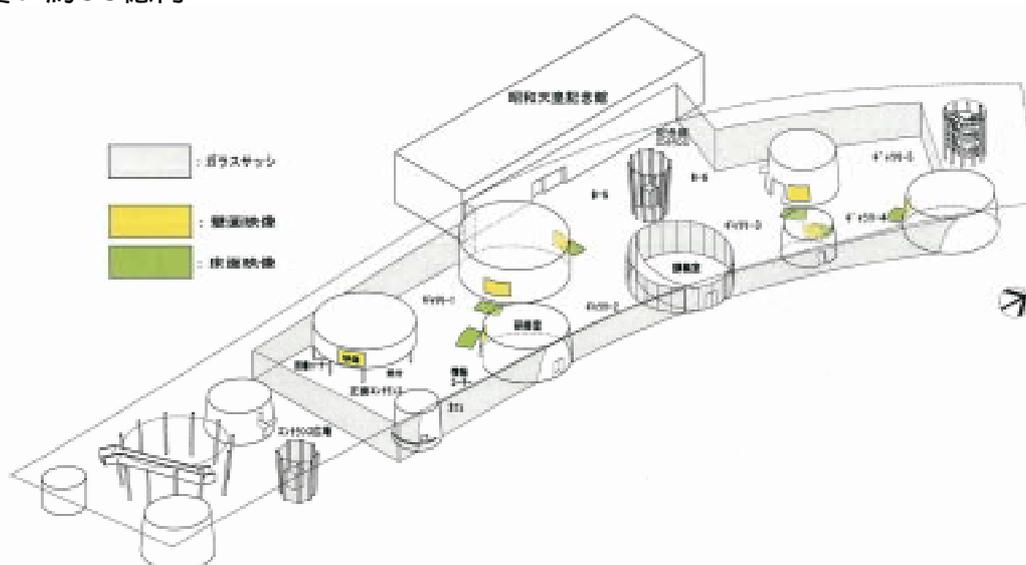
主体構造 / 鉄筋コンクリート造(屋根等一部鉄骨造)

建築面積 / 約5,500㎡(延床面積 / 約6,000㎡)

主な施設 / 講義室(約170㎡:約100名収容)、研修室(約60㎡:約40名収容)

ギャラリー(約1,700㎡)、テラス(約600㎡)、昭和天皇記念館(約910㎡)

工事費 / 約33億円



「花みどり文化センター」空間図